【資料 1-2】本委員会での検討事項とスケジュール ＜設計津波水位の設定＞

平成 27 年 11 月 16 日
（第 1 回委員会）

平成 28 年 3 月 30 日
（第 2 回委員会）

対象津波群の選定 計算条件の設定

地域海岸の仮設定
21 海岸

地域海岸の本設定
21 海岸⇒15 海岸

対象津波の整理

痕跡値の整理

※痕跡値（信頼度 A,B）：東北大学津波痕跡データベース
※痕跡のある津波は以下の 4 津波
①庄内沖地震津波（1833）、②新潟地震津波（1964）、
③日本海中部地震津波(1983)、④北海道南西沖地震津波(1993)

補完シミュレーション
（50m メッシュ）

※痕跡を補完する津波シミュレーション
※①庄内沖地震津波（1833）、②新潟地震津波（1964）は
痕跡が少ないため対象外

※潮位は T.P.+0m

再現性の検証

再現性の
検証

NG

再現の目安
0.95<K<1.05
κ<1.45

OK

パラメータ調整
乖離データの検証

補完シミュレーション
（50m メッシュ）（再計算）

※潮位は T.P.+0m

津波高の算出

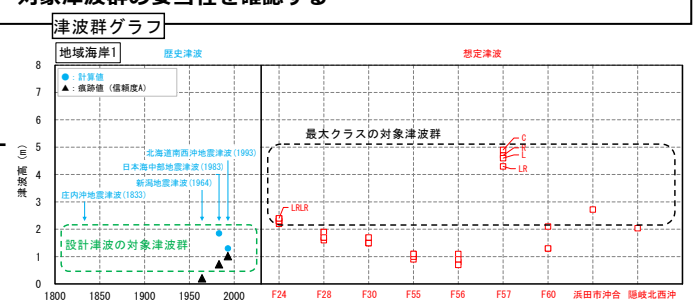
①平地の設定

②沿岸津波高の最大値を抽出
津波高分布グラフの作成
（地域海岸毎）

※痕跡値（信頼度 A）をプロット

[津波群グラフの作成]
- **海岸堤防については、最大クラスの津波ではなく※比較的頻度の高い津波を対象として設計を行う（国交省省令より）**
  （※　数十年～百数十年の頻度で発生している津波）
- **最大クラスの対象津波群との関係も考慮し、設計津波の対象津波群の妥当性を確認する**

津波群グラフ



③設計津波の対象津波群の選定
（地域海岸毎）

計算条件の設定

平成 28 年 9 月 14 日
（第 3 回委員会）

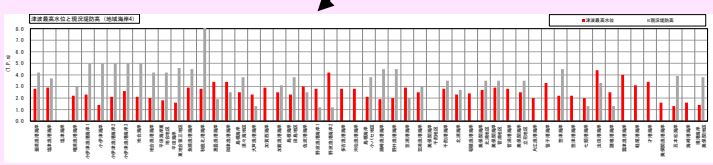
設計津波水位の設定

※潮位は T.P.+0.35～0.59m

津波シミュレーション

設計津波水位（素案）を設定

※既存堤防高との比較



※設計津波水位が海岸線に沿って著しく異なる場合

地域海岸を分割して複数の設計津波水位を設定

平成 29 年 1 月～29 年 2 月頃
（第 4 回委員会）

設計津波水位(原案)の設定

設計津波水位(案)の設定

海岸保全基本計画へ反映

※第 2 回改訂

海岸管理者

※既存海岸堤防高　＜　設計津波水位となる

関係市町村、関係省庁協議

地元合意形成

地域の状況に応じた海岸堤防高の設定

[海岸堤防高の設定の考え方]
- **まちの安全**
- **ハード・ソフトの組み合わせ**
- **環境保全・周辺環境との調和**
- **市町村によるまちづくり**
- **経済性・維持管理の容易性・施工性・公衆の利用等、総合的な議論を踏まえて適切に定める**